

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

施設名	高松市塩江湯愛の郷センター及び高松市塩江奥の湯公園		
-----	---------------------------	--	--

指定管理者	塩江温泉旅館飲食協同組合	施設所管課等	観光交流課
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市塩江湯愛の郷センター浴場施設:高松市塩江町安原上東37番地1 高松市塩江湯愛の郷センター道の駅:高松市塩江町安原上東390番地4 高松市塩江奥の湯公園:高松市塩江町上西甲2131番地2	業務の概要	【浴場施設】 温泉施設を利用した観光振興、住民の健康促進、販売業務、地元食材を使った料理の提供 【道の駅】 農林産物加工品等の展示、販売、市内外住民交流の場、地域イベント開催の協力 【奥の湯公園】 キャンプ場等の管理運営
施設の概要	【施設】 高松市塩江湯愛の郷センター浴場施設 高松市塩江湯愛の郷センター道の駅 高松市塩江奥の湯公園 【開館時間】 浴場施設:午前9時～午後10時(冬季は午後9時まで) 第1・第3火曜日定休 道の駅:午前8時～午後7時 (11月1日から翌年の2月末日までの間は午後6時まで) 火曜日定休 奥の湯公園:4月1日～10月31日		

	項目名	令和元年度	平成30年度	項目名	令和元年度	平成30年度
利用状況等	利用者数(浴場施設)	55,634 人	23,596 人			
	“(道の駅)”	129,627 人	131,917 人			
	“(奥の湯公園)”	701 人	593 人			
収支状況等	指定管理料	7,500 千円	9,000 千円	支出総額	32,641 千円	20,001 千円
	使用料・事業収入	26,742 千円	11,207 千円			

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント		所管課等評価
1 基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理	安全管理マニュアルに基づき、各施設の定期点検等チェックを完全に実行し、全職員で安全対策危機管理を徹底して実行した。		A
	②個人情報の保護、情報公開、環境への配慮			
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性	高松の奥座敷として地域住民及び高松市民が気軽に利用できる施設を目指すとともに、市民参加型のイベントを増やしサービスの向上に取り組んだ。		A
	②平等な利用の確保			
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策	各施設毎の責任体制を明確にし、地域関係団体と連携し、PR活動・各種イベント等に積極的に取り組んだが、塩江温泉郷への観光客は、インバウンドは大幅に伸びたが国内旅行は伸びておらず、「道の駅」「奥の湯公園」とも、利用者が思うほど多くなかった。		A
	②広報・PR対策			
	③企画事業・自主事業			
	④市・関係団体・地域等との連携			
	⑤サービス向上の取組			
	⑥相談・苦情への対応			
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等	職員は全員塩江出身者を雇用し、本年度も地元で愛される地域密着型の施設運営管理を徹底して行った。収支計画については、改修前とほぼ同じ程度で大幅な伸びはなかった。		A
	②教育・研修			
	③就業規則等の遵守			
	④施設運営の健全性の確保			
	⑤損害保険等			
	⑥収支計画と執行管理			
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費	収支管理については、最重点項目として毎月チェックを行い、目標達成に努めた。収入は伸びなかったが、光熱水費・燃料費等の削減により目標を達成出来た。		A
	②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点			
	③経営の効率化			
	④合理的な会計制度			

総合評価コメント	総合評価
道の駅の利用者数が減少しているが、塩江温泉郷全体としては、インバウンドが増加する一方で、日本人宿泊者数が減少しており、また、例年に増して台風などの天候不順が続いた影響も考えられる。広告やインターネットを活用し、積極的に誘客に取り組んでいることは高く評価できるが、より効果の高い手法が望まれる。収支状況については、経営の効率化、経費削減により黒字を保ったことは評価できる。 今後は、各種イベントやHP、ポスター等各種媒体を利用したPR活動を行うとともに、SNS等による幅広い年齢層への情報発信も取り組んでいただきたい。また、指定管理者独自のイベント開催や地域で開催するイベントなどにも参加するなど、より一層の利用者拡大に努めていただきたい。	A